市の人口（12月1日）
人口　38,235人
男　18,086人　女　20,149人
世帯数　10,372世帯
面積　240.93平方キロメートル
発行　大洲市役所
編集　総務課

広報おおず

郷土を愛し、明るい市づくりにつとめる
○ 学校、家庭、社会の教育において郷土を愛する心を培う。
○ 市づくりの権利と責任が市民一人一人にあることをお互いに自覚する。（大洲市民憲章）

今月の納税　市県民税　4期
保険税　5期

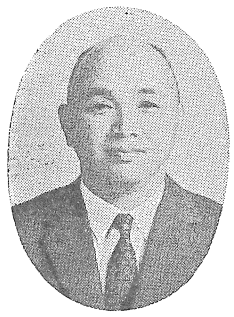
教育と福祉の総合センター

3月末完成の予定

市民が久しく待ち望んでいた教育と福祉の総合的なセンターの建設が本町一丁目に着々と進められ三月末に完成の予定であります。この総合センタ　は鉄筋コンクリート四階建で中央公民館と勤労青少年ホーム、老人憩の部屋が設けられ、教育と福祉の殿堂として市民に親しまれ利用されることが期待されています。

年頭のごあいさつ

大洲市長　村上清吉



市民の皆様、新年おめでとうございます。

昨年は、かってない石油危機、またそれに続く異常な経済状勢のもとで、最近になく暗い年を迎えることとなったのでございますがここに 新しい年を 迎えるにあたり、一日も早く今日の状態から脱却するとともに、これを機会に、より固くより強い基盤のもとに、激動する社会の中で、私たちが今日の生きがいある生活の実現につとめ、明日の夢ある郷土づくりに営々として努力してまいりました結果が、この大洲市二十年の輝しい金字塔を打ち立てるゆえんとなったものでございまして、まことに、慶祝にたえないところでございます。同時にまた私たちは、わが国、わが郷土が発展してまいりますことを、心から念願するものでございます。

さて今年は、大洲市にとりましては、誕生以来二十年のまことに意義深い年にあたります。

本市の将来に亘る永い歴史の中に一つの時代を画することになるでありましょうこの時期に、過去をかえり見、新しい視野から、これからの大洲市を作り上げてまいらなければならないと思うのでございます。

その目標は、いうまでもなく、この豊かな自然、恵まれた風土の中に、力いっぱい働くことのできる環境、潤いのある生活基盤、優れた文化の享受、美しい人間関係を樹立していくことであります。

これを具体化してまいりますために、私は、更に今後、国、県の施策に呼応しつつ、農業を中心とした、商業、工業との一体的開発に産業基盤の確立、社会福祉施策の拡充による暖い社会環境の実現学校教育、社会教育の振興により人間性豊かな人づくり、住宅、下水道の建設、道路、公園等の整備による地域環境づくりを強くおし進めてまいる所存でございます。

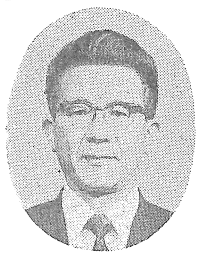
また、今日皆様方の中に、不安を与えております生活物資等の対策につきましても最善の努力を払い、不安の解消、生活安定につとめてまいりたいと存じます。

どうか皆様方の変らぬご支援、ご協力を切にお願い申し上げる次第でございます。

終りに、皆様方のご健康とご多幸を祈念いたしまして年頭のごあいさつといたします。

年頭のごあいさつ

大洲市議会議長　森永健一



昭和四十九年の年頭にあたり、大洲＝議会を代表し謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

明けましておめでとうございます。

ここに希望あふれた新春を迎えるにあたって、皆さまがたのご清福とご繁栄を心からお祈り申し上げます。

わたくしは、去る九月の第百十三回定例市議会におきまして図らずも議長の要職につき、以来その重責を痛感し 新たな 決意をもって、微力ながら円滑な議会運営と市政の伸展のため、誠心誠意努力を傾注してまいったつもりであります。

おかげをもちまして、大過なく越年することができました。

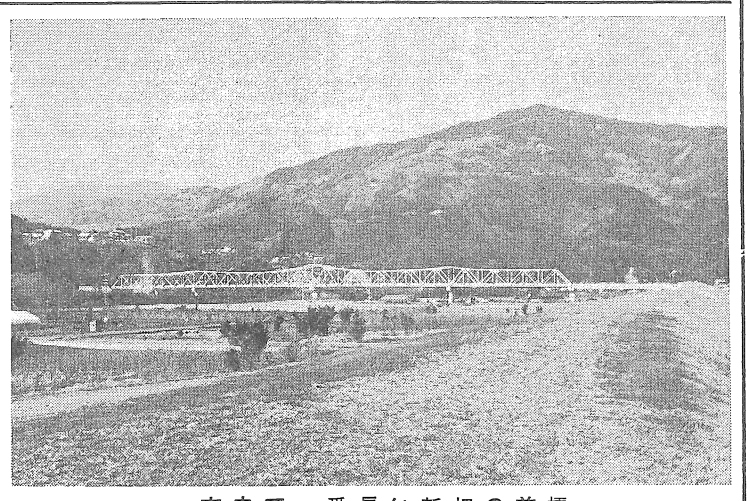
これはひとえに市民各位のご支援の 賜ものでありまして、心から感謝の意を表する次第であります。

さて、わが大洲市も順次隆盛の一途をたどっておりますことは、みなさまのご協力と市行政運営のよろしきを得た結果であり、ご同慶に存ずるところであります。

しかしながら、市民生活の向上福祉の増進を図りますためには、まだまだ幾多の重要問題が山積しているのでありますが、特に最近の石油危機、それに伴う異常な経済状勢は、各方面に大きく影響を及ぼし、まことに憂慮にたえないものがあります。

これらの異常な事態を含めて、困難な諸重要問題を有効な解決へみちびくことは、われわれに課せられた責務であり、関係機関と協調しながら努力してまいる覚悟であります。

かなりの困難は予想されますが昭和四十九年の新しい年こそは、市政全般にわたり 最大の 努力を傾注する所存でありますので倍旧のご支援を切にお願い申し上げます。



市内で一番長い新畑の前橋

完成が待ち望まれる新畑の前橋

市内五郎地域の肱川河川改修工事とあわせて、建設省と大洲市が昭和四十六年度から総工費二億五千六百三十三万七千円をかけて行っている、新畑の前橋の架橋工事が三月末完成をめざして着々と進められています。

この橋は、現在の、畑の前橋と慶寺橋とのほぼ中央に 架橋され、完成しますと、延長一百八十メートル、幅員六メートル（車道幅員五メートル、歩道幅員一メートル）の市内でも一番長い橋となり、一日も早い竣工が期待されています。

皆さまがたのご健康とご多幸を祈念し、いささか所感をのべて年頭のごあいさつといたします。

いよいよ事業段階を迎える 国営総合農地開発事業

大洲市では、地域開発の基幹事業として国営総合農地開発事業を計画し、昭和四十六年度から農林省、県、地元市町村が一体となって調査計画を進めてきましたが本年度でその作業を終り、当地域の開発が技術的にも可能であり、地域将来の発展に大きく寄与することができるとの結論を内容とする基本計画がつくられました。

昭和四十九年度からは、更に細部の計画が行われ、いよいよ事業にとりかかる段階を迎えました。

過去数年間の農業生産は停滞傾向にありましたが、最近の石油危機などにともなって、現在極めて多量の農産物を輸入しているわが国の状態を改善しなければならないと考えられつつあります。

このような社会の動きからも、この事業をできるだけ早く完成させて、新しい農業地帯をつくることが、農家の皆さんにとっても、地域将来の発展にとっても必要です。

本事業の円滑な推進のため市民各位のご理解とご協力をお願いいたします。

なお、開発計画地区および、土地所有関係者には、今後事業の進捗とともに種々ご協議致しますので、よろしくお願いします。

大洲、喜多地域計画のうち、大洲市部分の概要は次のとおりです。

一、計画地区面積
①農地開発事業　九一〇ha（団地数33）
②関連土地改良事業　一二六六ha（団地数17）

二、工事計画
①農地造成　六五二ha
②既耕地のほ場整備　一〇四ha
③畑地かんがい　九〇三ha（揚水場四か所から全面積に配管する。）
④道路の新設改良
幹支線四万二千百六十メートル
⑤防災施設　砂防えん堤　沈砂池排水路等

三、予定工事期間
昭和五十年度～五十六年度

四、事業費
農地造成十アール当り事業費は七十七万円の見込みで市の総事業費は約七十億円。

五、導入作目と営農計画
①導入作目、果樹、たばこ、茶養蚕、そさいなど適作目のうちから団地別に選定する。
②営農計画　地域の実情に応じて近代的農業をはかる。

なお、詳細については、産業第一課へお問合せください。

産業第一課

第三回市奨学生募集

大洲市教育委員会では、昭和四十九年度の奨学生の募集をいたします。

ご希望のかたは、在学する学校で手続きをしてください。

一、貸与する額
毎月　高校　二、〇〇〇円
県内大学四、〇〇〇円
県外大学五、〇〇〇円
で無利子です。

二、資格
①高校、大学または高専に進学（在学）する者。
②学業、人物ともにすぐれ、健康な者。
③学資の支出が困難であると認められる者。
④日本国民であって、保護者が市内に居住する者。
⑤法律または、他の団体等の条例、規則等による学資の貸与をうけられない者。

教育委員会では、学校の推薦調書、本人の願書などを選考委員会で審査し、採用候補者を決定します。

詳しいことは市教委学校教育課へおたずねください。

年頭のごあいさつ

大洲市区長会長会会長　車政雄

昭和四十九年の新春を迎えるにあたり、区長会を代表し、謹んで新年のごあいさつを 申し 上げます。

新年おめでとうございます。

輝かしい一九七四年の大洲市の 限りない進展を お祝いできますことは、喜びにたえないところであります。

本年は市政二十周年を迎え、市将来への大きな期待と潤いのある生活を営むことのできる市づくりのため、区長会におきましても新しい年のもとで意を新たにして、市未端行政を強力に推進し、市政進展のため最大の努力をしてまいりたいと存じます。

市政発展のため、旧年にも増してご指導、ごべんたつを賜りますようお願い申し上げます。

みなさまのご健康とご多幸をお祈りして年頭のごあいさつといたします。

一般会計総額 31億6904万5千円に

農村総合整備モデル事業費等 十二月定例市議会で可決

十二月定例市議会は、十二月十四日から九日間の会期で老人医療費、農村総合整備モデル事業費等を含む、一億二千三百一万二千円の一般会計補正予算や、大洲市公共下水道整備審議会条例、大洲市交通傷害保障条例など二十五議案を原案とおり可決し、陳情、請願など必要な採択をして閉会しました。

可決されたおもなものは次のとおりです。

一般会計補正予算

補正総額は一億二千三百一万二千円（一般会計の総額は三十一億六千九百四万五千円）のうち歳出のおもなものは、

◎老人医療費　二千六百二十万円
◎松くい虫防除対策費　百十一万円等です。

大洲市公共下水道整備審議会条例

公共下水道整備に関し、執行機関の付属機関としての審議会を設置し、もって事業の適正な実施をはかろうとするものであります。

人権擁護委員に 兵頭義高氏

十二月一日付で法務大臣より大洲市の人権擁護委員に兵頭義高氏中村　が委嘱されました。

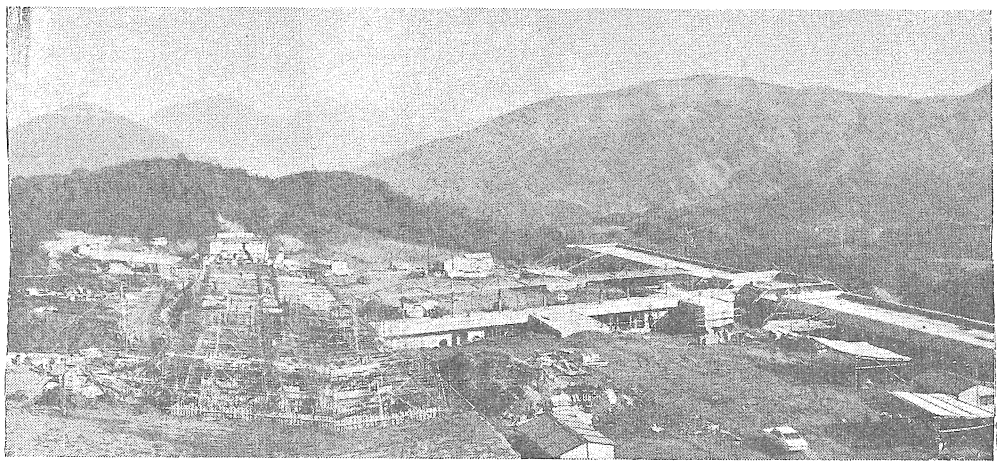
◎農村総合整備モデル事業費　一千五百五十七万円
◎同和対策事業費　一千三百四十九万七千円
◎新畑の前橋新設事業費　七百四十万円
◎農地基盤整備費　六百二十三万三千円
◎生活安定対策費　百三十二万八千円

市民交通障害保険金が 五割増額に

大洲市で行っている交通傷害保険で事故のあったとき支給される医療保険金の支払額が、十一月一日から平均五割増額され次表のようになります。

なお、詳しいことは市総務課へおたずねください。

区分		新	旧
死亡		五〇〇千円	三〇〇千円
後遺障害	治療期間六か月以上	九〇〃	五四〃
	〃五か月以上六か月未満	七五〃	四五〃
	〃四か月以上五か月未満	六〇〃	三六〃
	〃三か月以上四か月未満	四五〃	二七〃
	〃二か月以上三か月未満	三〇〃	一八〃
	〃一か月以上二か月未満	二〇〃	一二〃
	一週間以上一か月未満	一〇〃	六〃
	一週間未満	五〃	三〃



建設進む国立大洲青年の家

国立大洲青年の家 八月に事業開始

国立青年の家は、昭和三十四年皇太子殿下の御成婚を記念して静岡県御殿場市、富士山麓に中央青年の家が設置されたのが最初で、以来青年たちに好評をもって迎えられ、いまや北海道から沖縄まで全国に十か所の国立青年の家を運営しております。

国立青年の家の目的は、全国の勤労青年、在学青年やその指導者が団体宿泊研修を通じて、規律協同、友愛、奉仕の精神を養い、体力の増強、人間性の向上をはかるなど健全な青少年を育成することです。

国立大洲青年の家は、第十二番目の国立青年の家として大洲市北只に建設中で、約二十万平方メートルの敷地内に、収容定員四百人の規模で、管理、研修、宿泊、食堂、講堂の各棟延八千五百平方メートルの建物が、当初は昭和四十九年三月に完成を予定されていましたが、諸般の情勢により大幅な遅れを余儀なくされ、八月を目標に当面二百名収容で事業開始を目途に、工事を進めています。

現在の工事の進捗状況は、四十七年度に躯体工事が行われた宿泊棟二百人分の仕上工事と、管理、研修棟の基礎工事が着々と急ピッチで行われています。

四十九年度以降の計画としては体育館の建設、グラウンド、つどいの広場の整備、その他環境整備を行う予定です。

このほか、キャンプ場、サイクリングコース、オリエンテーリングコースの設定など野外活動のための施設設備も考慮検討していきます。

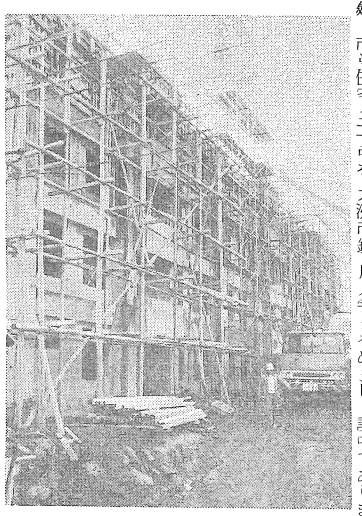
来年度に、青年の家が企画して実施する次のような主催事業を予定しています。

① 青年団体指導者研修（十一月二十一日から三泊四日
② 青年レクリエーションリーダー研修（十二月六日から二泊三日、五十年一月十三日から三泊四日）
③ 集団宿泊指導担当者研修（五十年一月二十二日から二泊三日）

似上の研修は、一人でも参加できる研修ですが、このほかに計画している研修事業としては、まず原則として五人以上のグループで二十四時間以上滞在して研修する一般研修事業があります。研修事業の詳細については、国立大洲青年の家事業課にお問い合せください。）

× × ×

初の高層市営住宅 3月末完成をめざす



大洲市では、初めての高層五階一砲町の「大洲市清和園」新地に三建、市営住宅三十戸を大洲市鉄月末完成をめざし建設中であります。

この住宅は、総事業費一億十五万一千円で鉄筋コンクリート造り延千三百八十三・四五平方メートル、一戸当りの床面積は四十九平方メートルで、居室六畳、四・五畳、二畳、炊事場兼食堂、浴場（持込据風呂）便所などを完備した新しい時代にふさわしい近代的な建物です。

これが完成しますと年とともに増大している市街地の住宅難が多少なりとも解消できるものと期待されています。

入居者の募集については三月に行う予定です。

総務課

完成近い市営住宅

農村総合整備モデル事業 昭和四十九年度着工予定

農業生産基盤整備事業が実施された田口、市木、徳森、新谷地区の四十三集落が「農村総合整備モデル事業」の対象地域として指定を受け、五十三年春完成をめざし七億二千万円をかけて事業を実施することになりました。

このモデル事業は、生活環境基盤を整備し高福祉農村の建設を目指して、昭和四十八年八月土地改良法の枠外で処置できるよう「農村総合整備モデル事業実施要綱」が制定され、各都道府県に一地区を選定し事業化されることになったものです。

県下においては、大洲市が選ばれ昭和四十九年三月末までに現況調査、集落診断を完了する予定で作業を進めております。

なお、市では、本事業を円滑に推進していくために事業実施地域の市議会議員、農業委員および市長が委嘱した地区の代表者により大洲市農村総合整備モデル事業推進協議会を結成し、計画策定を進める方針であります。

本事業により整備される工種の概要は次のとおりです。

農村環境施設整備事業として集落内道路、人家連担道、連絡取付道路など農業集落道の整備を行い必要に応じて付帯施設等の整備を行う。

農地内、宅地等に排出されている家庭排水、集落排水施設および地域の排水施設を整備し、あわせて末端における汚物分離排水処理を行う。

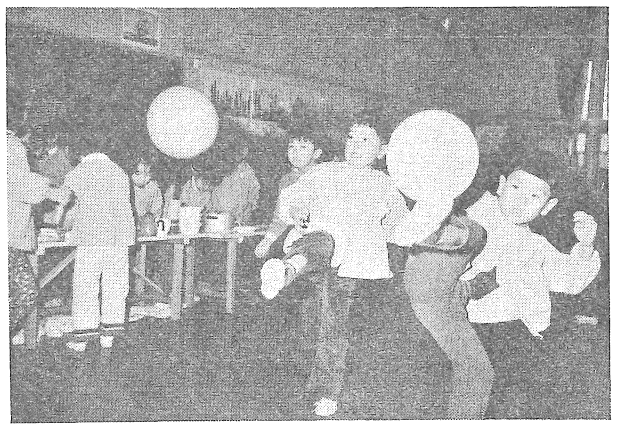
農村環境改善センターを一か所設置し農業者など農村地域在住者が研修、レクリエーション等に利用できるよう中心部に設置する。

最近は、児童の遊びの場所がなく交通災害等の犠牲者が増加しており、その対策として児童公園等を整備するよう計画しており、更に集落内の防災安全施設を各所に整備する等事業の内容は多種多様であります。

以上のように本事業は農村集落住住者の身の回りを整備する事業であり当市としては制度の趣旨に従い、この地区をモデル農村の名にふさわしい地域として本事業を強力に推進しようとするものであります。

本事業の推進委員は次のかたがたです。

会長　大森重穂
副会長　袖岡光徳
委員　尾上利則　武田秀雄　向井金重　亀岡利彦　中野邦武　稲葉　晉　武田安明
市農業土木課



肱川河畔に建設進む 理想の保育所

保育所への入所難を解消するため、肱南地区（柚木）の市有地に総事業費34.857千円をかけて、鉄骨平屋建314.01平方メートルの保育所を建設中であります。この保育所は、収容定員60名のモデルな施設で、市内12番目の保育所として4月開所を目標に準備を進めており、その完成が待たれております。

（写真＝のびのびと遊ぶ子供たち）

第十九回 優良赤ちゃんを表彰

去る十二月十五日、昭和四十八年度大洲市優良乳幼児表彰式を盛大に行いました。

この表彰にかかる乳幼児健康審査は、昭和四十七年六月一日から四十八年七月三十一日までに出生した赤ちゃん六六四名を対象に、市内十か所で行い、審査を受けた赤ちゃんは四六二名で全対象者の六九・六%に当ります。

審査は専門の医師および保健婦があたり、愛媛県赤ちゃん審査基準により月別に厳格に選考、五十名の赤ちゃんを選び四十八年度の大洲市優良乳幼児として表彰しました。

なお疾病等が発見された赤ちゃんについては医療機関などの適切な処置を受けられるよう指導し、治療を受けられて一日も早くよくなって頂くよう願っております。

表彰されましたみなさんおめでとうございます。市民のみなさんとともにお祝い申しあげますとともに、次の世代を担われる子供さんたちを今後ますます暖かい愛情によって心身ともに健全な社会人として、はぐくみ育てられるようお願いいたします。

表彰を受けた赤ちゃんは次のとおりです。

〔大洲〕
米沢由貴、満井光一

〔上須戒〕谷本千穂、矢野まどか、和気功一
福泉伸也、友田秀一
今岡昭裕、山田芳弘
西添昭雄、山本　静
武田将範、上甲浩司
山本淳子、武井郁江
宮内英利、梅原　徹
井手康仁、吉積幸子
下岡政宣、吉岡文彦
立石泰治、江上公康
後藤宏樹、鎌田恵美
大本美和、村上早苗

〔平野〕板倉崇治、水間和恵
〔南久米〕新みどり、一本知也
大谷和寿、長田英一
〔菅田〕池上智美、小野小百合
〔大川〕山元速人、宮内　斉
〔柳沢〕宮岡寛樹
〔新谷〕森野雄一、宮岡　司
尾崎寿子、松浦竜矢
黒岩　匡
〔三善〕城戸孝一、
〔八多喜〕西田さつき、加藤尚
都築昭宏、城戸健治
〔上須戒〕谷本千穂、

市民税の申告は正しく期限までに

昭和四十九年一分、市県民税の申告期限が近づきました。

この申告書は、市が皆さんの税金（市県民税、国民健康保険税）を計算するときの重要な資料となるものです。

なお、申告をしなかったり、申告書に必要事項の記載もれがありますと諸控除などが受けられない場合も生じますので申告書は正確に、必ず三月十五日までに提出してください。

詳しいことは、市税務課市民税係へおたずねください。

日曜当直医

1月13日	中央病院	④4551
〃15日	加川外科	〃5101
〃20日	中央病院	〃455
〃27日	〃	〃
2月3日	〃	〃
〃10日	〃	〃
〃11日	〃	〃
〃17日	〃	〃

診療時間午前八時半～午後六時